

目次



1.通期業績	•	P.2
--------	---	-----

- 2.第4四半期の業績 P.13
- 3.株主還元及び業績予想 · P.21
- 4.事業概況 P.25
- **5.**補足資料 P.33





2017年3月期業績予想と実績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想	42,310	131	123	▲ 457
2017年3月期実績	42,329	315	248	▲ 450
達成率※	100.0%	241.0%	201.8%	

※小数点第2位を四捨五入





当期の業績と前期比較

(単位:百万円)

	2017年3月期		前期比 2016年3月期累計	
	累計	実績	増減額	増減率
売上高	42,329	39,613	+2,715	+6.9%
売上総利益	7,335	7,187	+148	+2.1%
販管費	7,019	6,499	+520	+8.0%
営業利益	315	687	▲371	▲ 54.1%
経常利益	248	744	▲495	▲ 66.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 450	145	▲ 596	_

i- 売上高・売上総利益 過去最高を達成

売上高 前期比 27億15百万円の増加 (6.9%増)

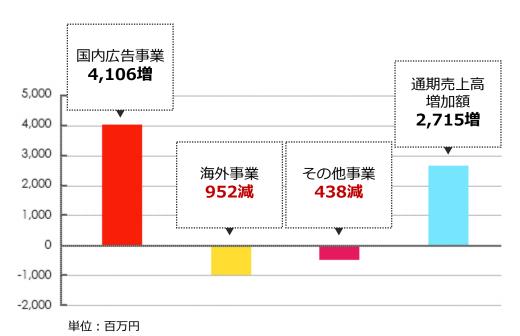
営業利益

前期比 3億71百万円の減少(54.1%減)





【総括】2017年3月期 事業別 売上高増減額(前期比)



	2017年 3月期	2016年 3月期	増減額
国内広告事業	35,690	31,584	+4,106
海外事業	5,860	6,813	▲ 952
その他事業	778	1,216	▲ 438
連結売上高	42,329	39,613	+2,715

(単位:百万円)

国内広告事業の売上高は前期比41億6百万円増加(13%増)で、継続して拡大中

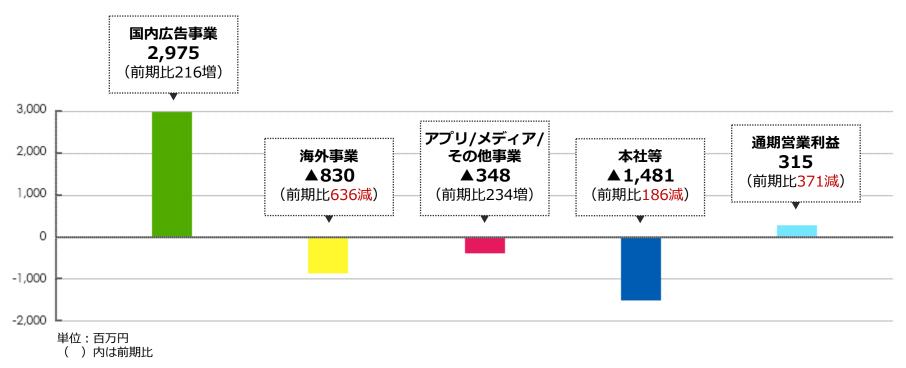
海外事業においては、市場変化に対応が進まず、前期比9億52百万円減(14%減)となっているが、 来期は新プラットフォームを導入し改善を進める

※海外子会社(インド除く)の決算期は12月のため、当社グループにおける2017年3月期の連結決算対象期間は1月~12月となります。





【総括】2017年3月期 事業別 営業利益



営業利益においても国内広告事業は継続して増加中であり、来期も効率化により引き続き増加予定

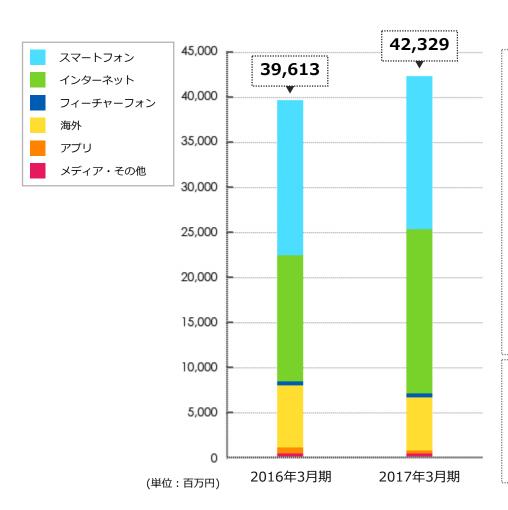
海外事業は、売上減にともない営業利益でマイナスとなっているが、来期は新プラットフォーム導入 で効率化を進め改善予定





1. 通期業績~売上高

売上高の前期比較



国内広告事業

356億9千万円

前期比:41億6百万円増(13.0%増)

スマートフォン(主にアプリ広告):170億29百万円

前期比:1億2千万円減(0.7%減)

- 新規タイトル案件数の減少、および大手クライアント

の予算減がマイナスにインパクト

インターネット(PCWeb広告およびスマートフォンWeb広

告): **182億88百万円**

前期比:43億47百万円増(31.2%増)

- Eコマース領域のスマートフォンWeb広告が好調に

つき売上増

海外事業

58億6千万円

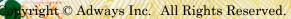
前期比: 9億52百万円減(14.0%減)

- 為替変動による越境ECユーザーの買い控え、および東アジア

の売上減少がインパクト

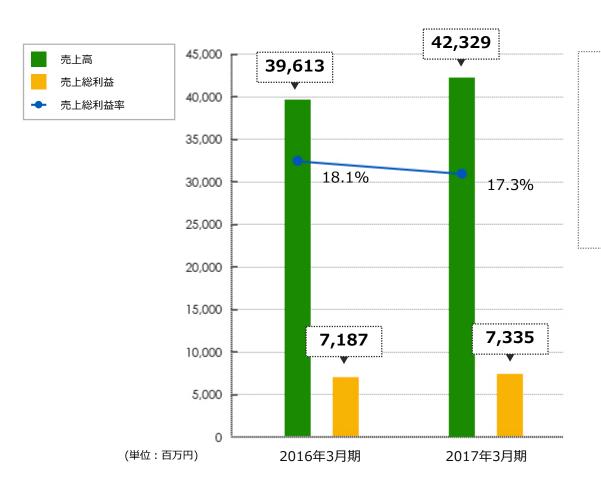
※海外子会社(インド除く)の決算期は12月のため、当社グループにおける 2017年3月期の連結決算対象期間は1月~12月となります。





1. 通期業績~売上総利益

売上総利益の前期比較



当期売上総利益:73億35百万円

前期比:1億48百万円増(2.1%増)

売上総利益率:17.3% (0.8%減)

【主な売上総利益率減少要因】

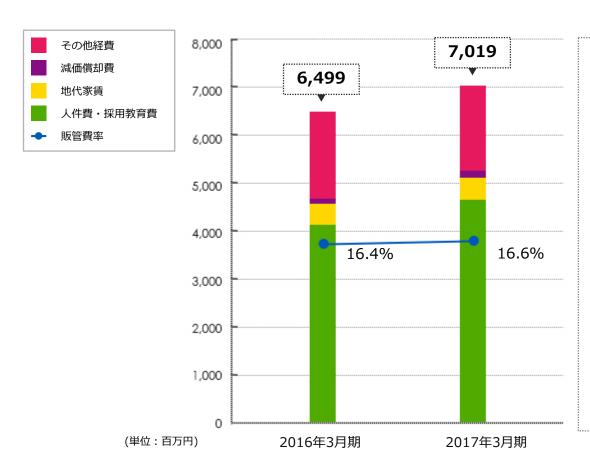
他社との競争激化および効率化が遅れたため



1. 通期業績~販管費



販管費の前期比較



当期販管費: 70億19百万円

前期比:5億2千万円増(8.0%増)

販管費率:16.6% (0.2%増)

【主な増加要因】

・人件費:5億18百万円

・外注費:32百万円

・支払手数料:25百万円

· 地代家賃:23百万円

【主な減少要因】

・研究開発費:42百万円

・貸倒損失:27百万円

国内広告事業の売上高が増加したものの 効率化が遅れ、人件費・外注費が増加し たことにより5億2千万円増、販管費率 は0.2ポイント増加



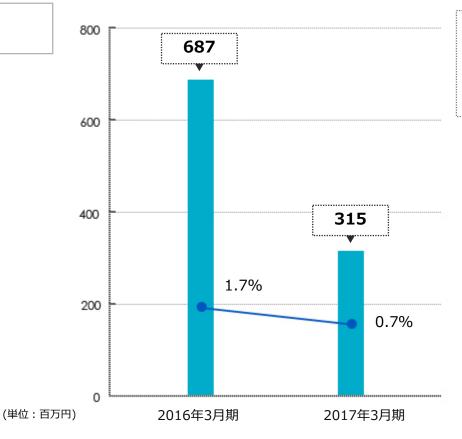


1. 通期業績~営業利益



営業利益の前期比較





当期営業利益:3億15百万円

前期比: 3億71百万円減(54.1%減)

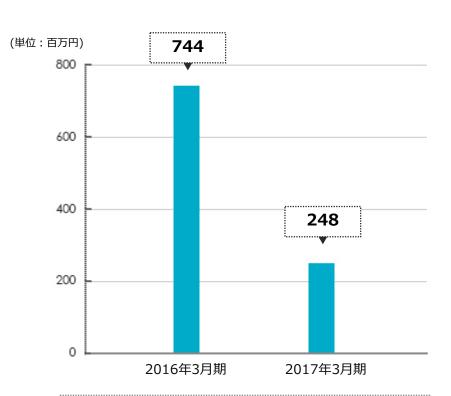
営業利益率: 0.7% (1.0%減)

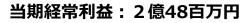
1. 通期業績~経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



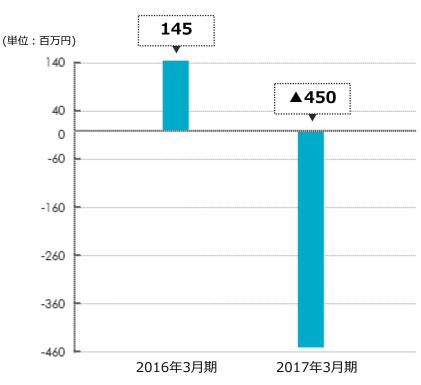
経常利益の前期比較

親会社株主に帰属する 当期純利益の前期比較





前期比: 4億95百万円減(66.6%減)



親会社株主に帰属する当期純利益:

▲ 4億5千万円

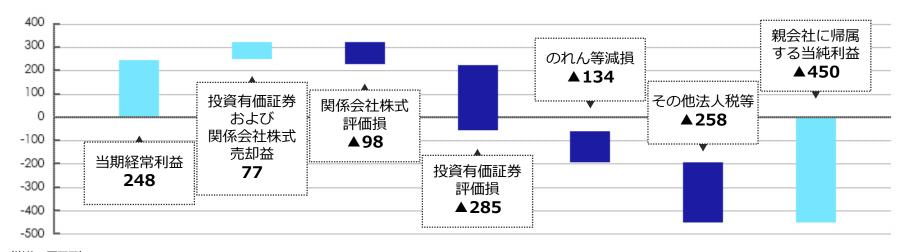
前期比:5億96百万円減(-%)







親会社株主に帰属する純利益の推移



(単位:百万円)

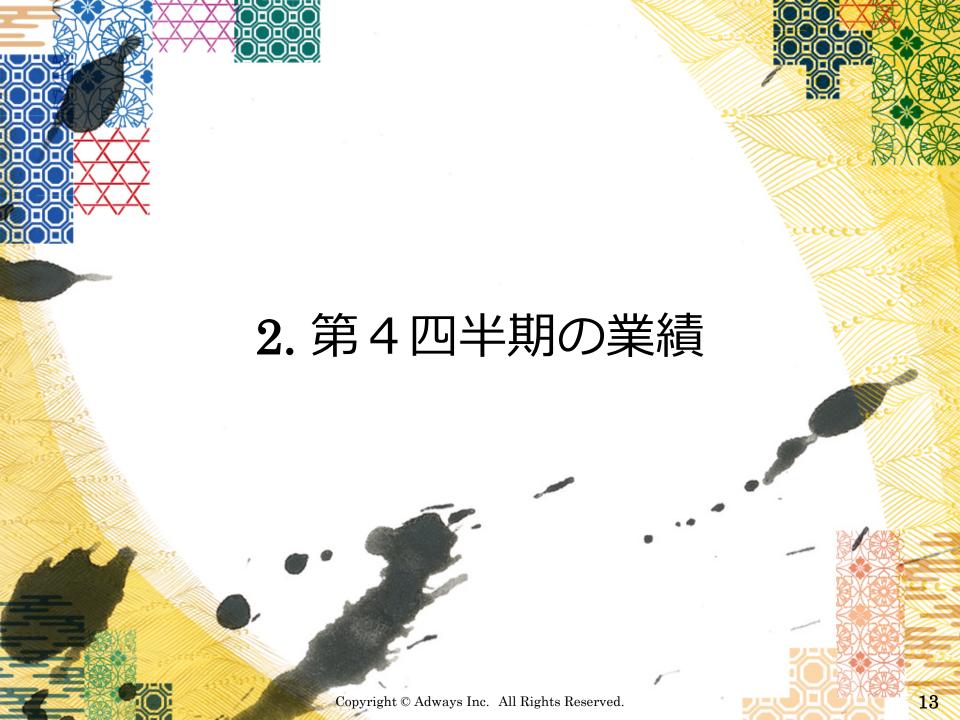
関係会社株式評価損[▲98百万円]:タイ子会社/インドネシア子会社/ベトナム子会社

投資有価証券評価損[▲285百万円]:銘柄数(25社)

のれん等減損[▲134百万円]: インド子会社ポイントアプリサービス「Pocket Money」事業ののれん等

その他法人税等[▲258百万円]: うち本社法人税239百万円





2. 第4四半期の業績



当四半期の業績と前年同四半期・前四半期比較

(単位:百万円)

	2017年3月期 第4四半期	前年同四半期比 2016年3月期第4四半期			前四半期比 2017年3月期第3四半期		
		実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
売上高	11,714	10,750	+963	+9.0%	10,292	+1,422	+13.8%
売上総利益	2,123	1,846	+276	+15.0%	1,811	+312	+17.2%
販管費	1,965	1,701	+264	+15.5%	1,645	+319	+19.4%
営業利益	157	145	+12	+8.5%	165	▲ 7	▲4.7%
経常利益	128	136	▲ 7	▲ 5.8%	179	▲ 50	▲28.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲199	▲106	▲ 92	_	4	▲ 203	_

i- 売上高・売上総利益 過去最高を達成

売上高

前年同四半期比 前四半期比

9億63百万円の増加 14億22百万円の増加

(9.0%増)

(13.8%増)

営業利益

前四半期比

前年同四半期比 12百万円の増加

(8.5%增)

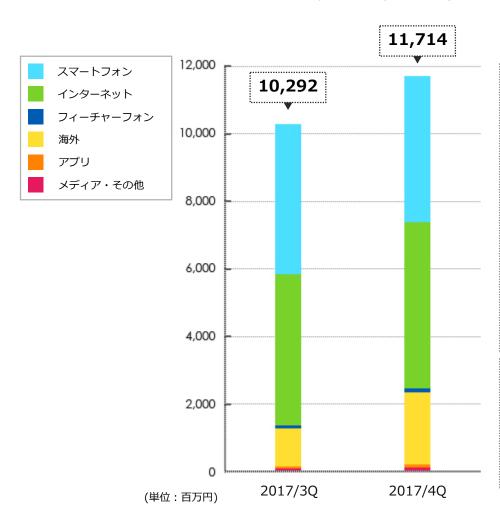
7百万円の減少

(4.7%減)



2. 第4四半期の業績~売上高

売上高の前四半期比較



国内広告事業

93億53百万円

前四半期比: 3億4千万円増(3.8%増)

スマートフォン(主にアプリ広告):43億31百万円

前四半期比:1億15百万円減(2.6%減)

- 年末の大型案件受注の反動により前四半期比では

マイナスにインパクト

インターネット(PCWeb広告およびスマートフォンWeb広

告):49**億11百万円**

前四半期比: 4億29百万円増(9.6%増)

-Eコマース領域のスマートフォンWeb広告が好調につき

売上増

海外事業

21億51百万円

前四半期比:10億39百万円増(93.5%増)

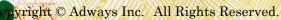
- 主要マーケットである東アジア(中国、韓国、台湾)で運営

体制等の改善によりプラスにインパクト

また海外子会社決算時の為替レートの変動により数値が上昇

※海外子会社(インド除く)の決算期は12月のため、当社グループにおける 2017年3月期第4四半期の連結決算対象期間は10月~12月となります。

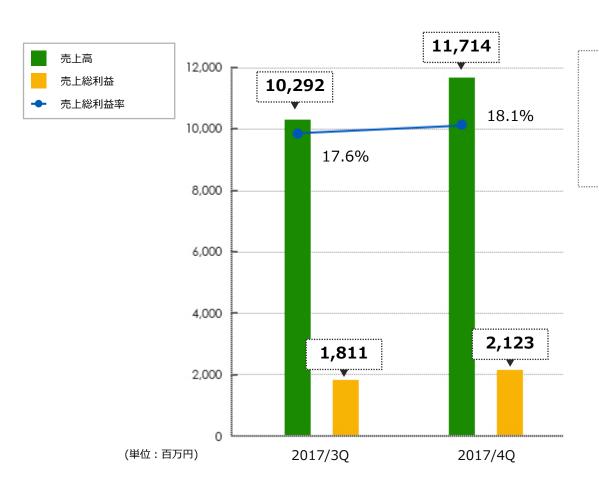




2. 第4四半期の業績~売上総利益



売上総利益の前四半期比較



当四半期売上総利益:21億23百万円

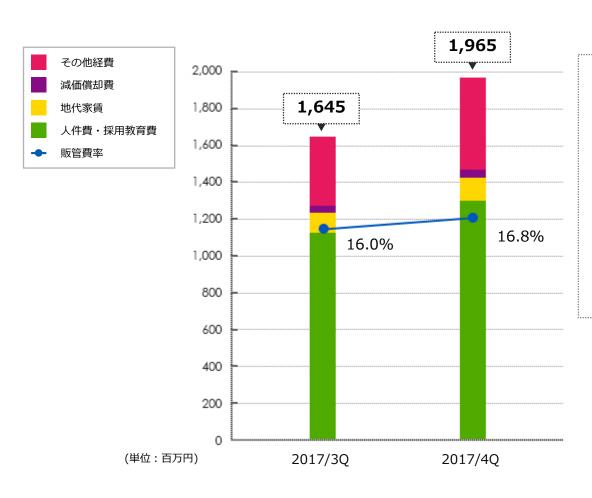
前四半期比: 3億12百万円増(17.2%増)

売上総利益率:18.1% (0.5%増)

2. 第4四半期の業績~販管費



販管費の前四半期比較



当四半期販管費: 19億65百万円

前四半期比: 3億19百万円増(19.4%増)

販管費率:16.8% (0.8%増)

【主な増加要因】

人件費:1億73百万円

-主に為替変動による海外人件費の増加

貸倒引当金繰入:45百万円

-不良債権増加により貸倒引当を実施

支払手数料:16百万円 地代家賃:16百万円



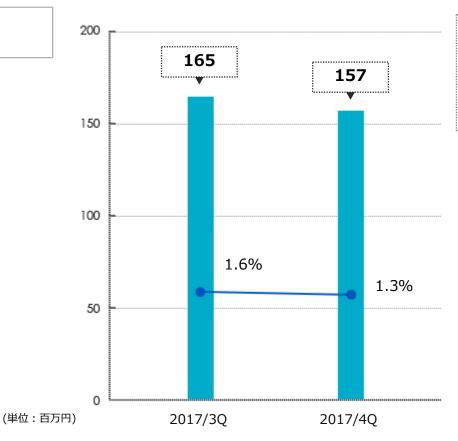


2. 第4四半期の業績~営業利益



営業利益の前四半期比較



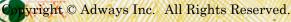


当四半期営業利益:1億57百万円

前四半期比:7百万円減(4.7%減)

営業利益率:1.3%(0.3%減)

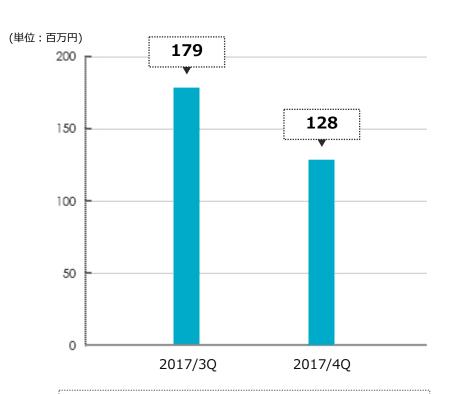




2. 第4四半期の業績 ~経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

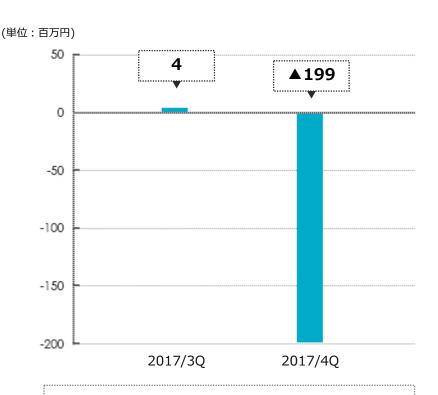
経常利益の前四半期比較

親会社株主に帰属する四半期純利益の前四半期比較



当四半期経常利益:1億28百万円

前四半期比:5千万円減(28.3%減)



親会社株主に帰属する四半期純利益:

▲ 1億99百万円

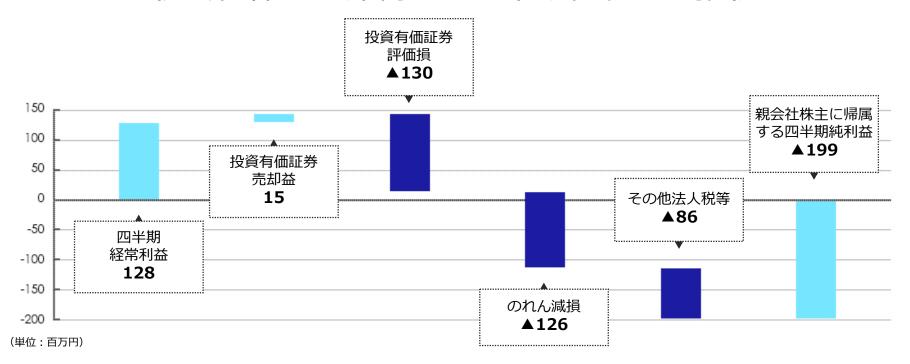
前四半期比: 2億3百万円減(一%)



2. 第4四半期の業績



親会社株主に帰属する四半期純利益の推移



投資有価証券評価損[▲130百万円]:銘柄数(8社)

のれん減損[▲126百万円]: インド子会社ポイントアプリサービス「Pocket Money」事業ののれん

その他法人税等[▲86百万円]: うち本社法人税80百万円





3. 株主還元及び業績予想



2018年3月期連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
2018年3月期 業績予想	46,000	560	730	220
2017年3月期実績	42,329	315	248	▲ 450
2017年3月期 実績比	+8.7%	+77.4%	+194.1%	_

※小数点第2位を四捨五入





3. 株主還元及び業績予想



配当方針及び2018年3月期期末配当予想

株主の皆様への継続的な利益還元及び企業価値の向上を重要課題と認識し、諸施策を実施してまいります。

配当につきましては、前期(2016年3月期)からの3ヵ年は第1期を除く当社事業年度を基準とした配当性向(来期は第18期である為17%)より算出される1株当たりの金額、もしくは1株当たり2.35円(2015年3月期普通配当実績)のどちらか高い方を目処としております。

	1株当たり配当金額
2018年3月期 期末配当予想	2.35円 もしくは配当性向 17% のどちらか高い方
2017年3月期 期末配当	2.35円

[※]ただし、大きな業績の変動や大規模なM&A等の経営環境等の変化によって、配当方針を変更する可能性があることにご留意ください。





[※]当社では100株を1単元とする単元株制度を採用しております。

[※]本件については当社定時株主総会の決議をもって正式に決定・実施となります。

3. 株主還元及び業績予想



自己株式取得について

取得金額:999,950,500円

取得株数:1,980,100株

取得日:2017年2月28日

取得後の自己株式の保有状況

発行済株式総数:41,583,500株

自己株式数: 2,837,700株

(発行済株式総数に対する割合6.82%)

※上記数値は約定ベースで表示しております。





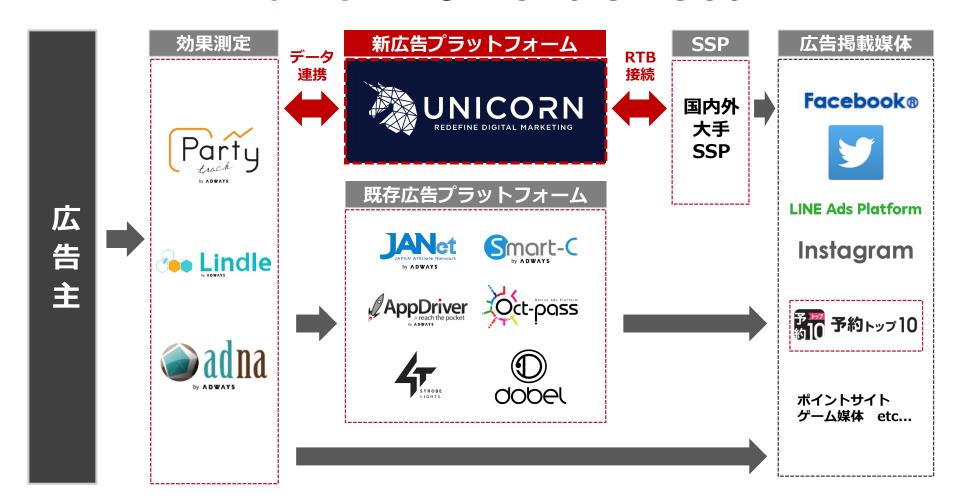
マーケターは数字解析に時間を奪われるべきではない。

マーケティングにおける投資判断やコミュニケーションに時間を使うべきである。

4. 事業概況~App Marketing



"Platform&Borderless"



4. 事業概況~App Marketing





既存DSPとは全く違う新プラットフォーム導入で 国内外においてより効果の高い、スピード感を持った広告運用が可能に

4. 事業概況~Global Marketing



2016.6.7

【東南アジア地域】 BlueBeeNative ネイティブアドネットワーク 「Blue Bee Native」提供開始

2016.6.29

インド子会社設立 ポイントアプリサービス 「Pocket Money」の事業譲受

POKKT

2016.8.4

【ベトナム子会社】 大手モバイルゲームパブリッシャー Sohagameとのパートナーシップ締結

2016.10.5 TROPHIT

【USA子会社】 「PreLaunch.Me」において TROPHITと業務提携開始



【今後の海外展開】



STROBE LIGHTS



新プラットフォームの導入により、最適な出稿パターンを最速で展開

4. 事業概況~ Global EC/EC Data



[Global EC]

今後も拡大予想の越境EC転送サービス



エキサイト台湾現地法人と業務提携開始 〜台湾広告・越境ECとメディアの シナジーを推進〜



アドウェイズ広告・越境EC事業と エキサイトのメディア事業のシナジーを推進すると 共に、相互の事業を有効活用した現地事業の新規展開

[EC Data]

EC戦略に必要な"今"のデータを提供



天猫国際・淘宝国際・京東国際に続き Kaola.comのデータ提供を開始

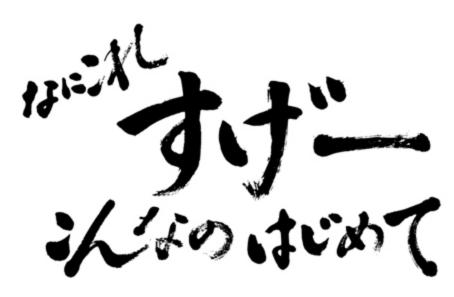


中国ECサイトの80%以上のプラット フォームを網羅し、中国越境ECを 展開する企業様をさらにサポートすることが可能に









本日はありがとうございました

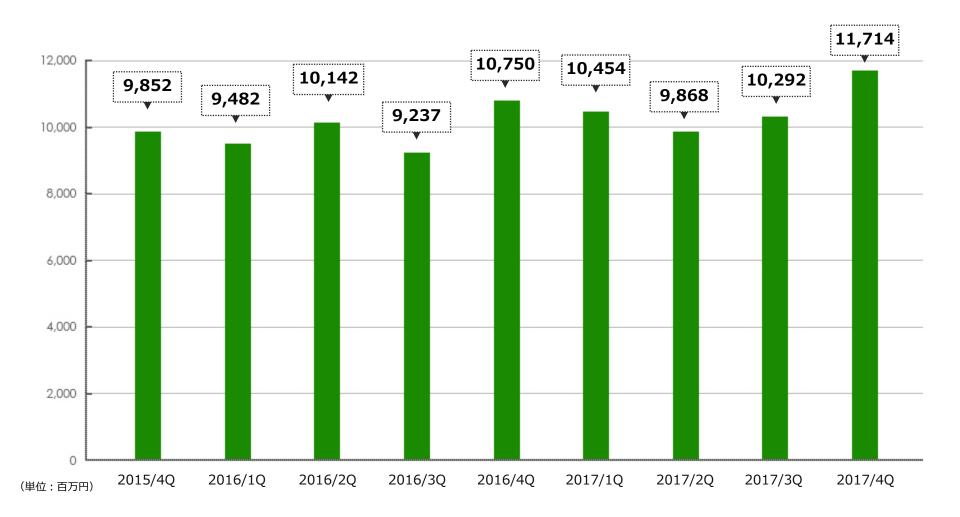
本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2017年5月12日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。



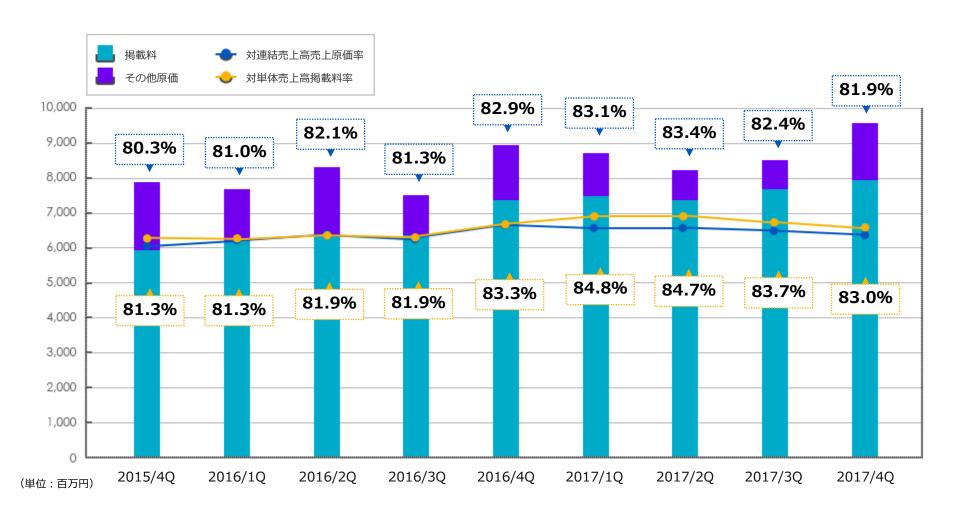


連結売上高 四半期推移





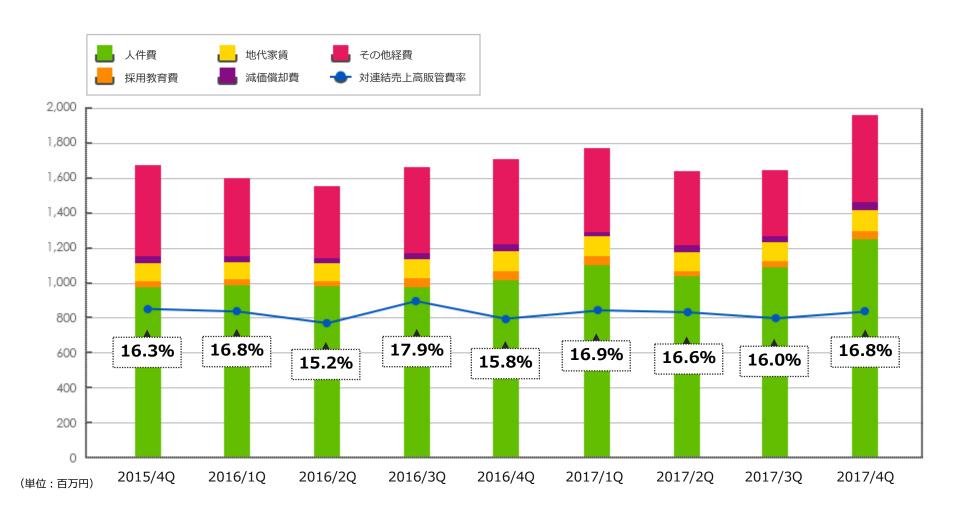
連結売上原価 四半期推移







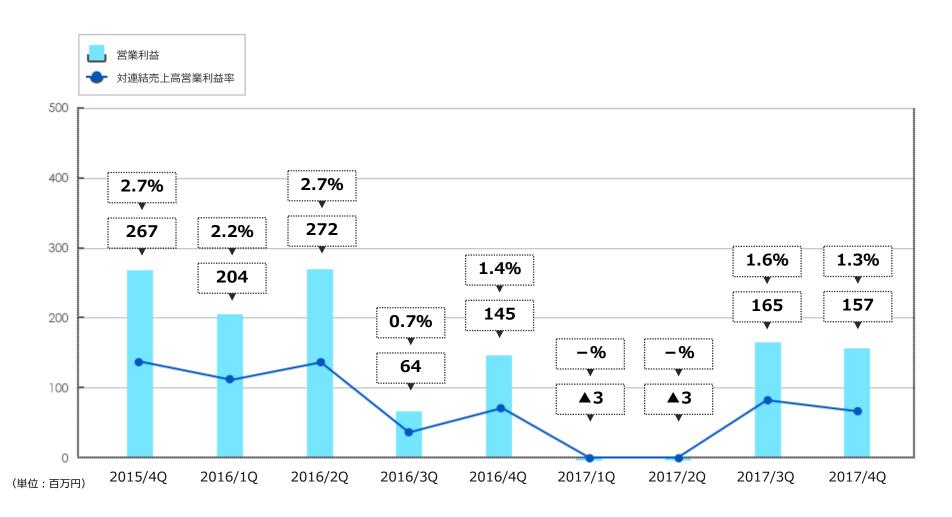
連結販管費 四半期推移







連結営業利益 四半期推移







連結貸借対照表 (前四半期比)

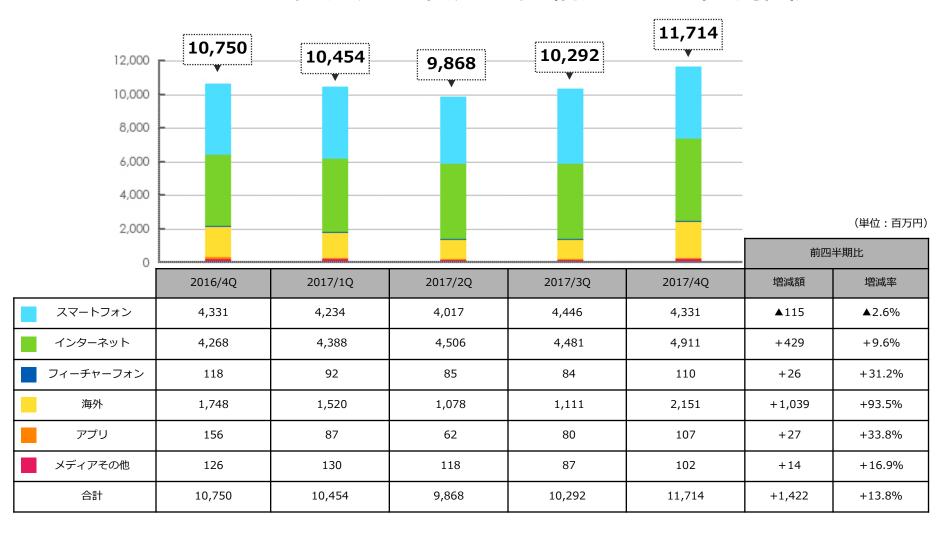
(単位:百万円)

	2017年3月期4Q	2017年3月期3Q	増減額	増減率
流動資産	15,449	15,671	▲221	▲1.4%
(現預金)	8,853	9,479	▲ 625	▲ 6.6%
固定資産	2,867	2,688	+179	+6.7%
総資産合計	18,316	18,359	▲ 42	▲0.2%
流動負債	7,144	6,474	+669	+10.3%
固定負債	120	107	+13	+12.7%
負債合計	7,265	6,581	+683	+10.4%
純資産合計	11,051	11,777	▲ 726	▲6.2%

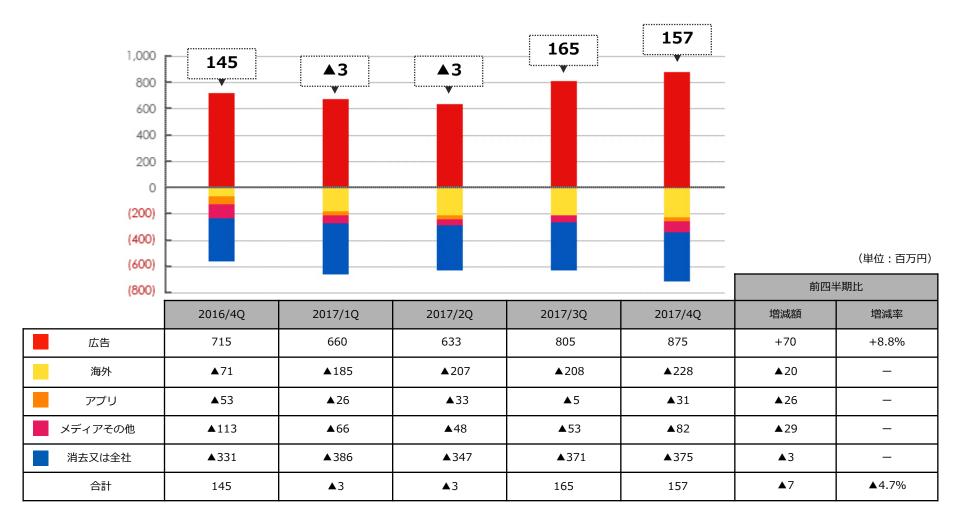
自己株式取得(9億99百万円)により、現預金および純資産が減少

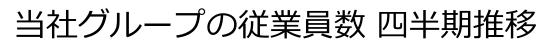


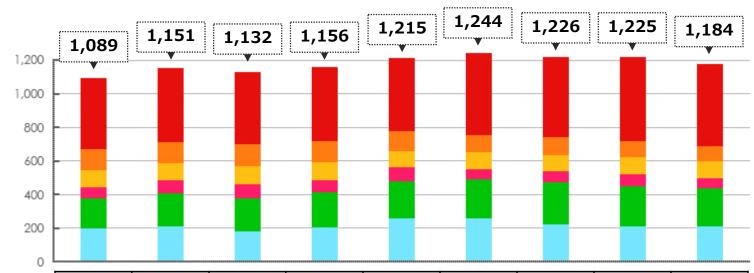
セグメント内訳別連結売上高構成比 四半期推移



セグメント内訳別連結営業利益構成比 四半期推移







(単位:名)	2015/4Q	2016/1Q	2016/2Q	2016/3Q	2016/4Q	2017/1Q	2017/2Q	2017/3Q	2017/4Q
日本アドウェイズ	421	443	430	439	436	489	492	499	496
中国アドウェイズ	132	125	130	126	122	103	103	104	92
中国開発センター	101	100	107	108	101	96	97	105	100
国内子会社	59	80	79	73	79	69	67	65	60
海外子会社(中国以外)	188	201	206	206	218	226	251	244	229
派遣/アルバイト等	188	202	180	204	259	261	216	208	207
合計	1,089	1,151	1,132	1,156	1,215	1,244	1,226	1,225	1,184





会社概要

会社名	株式会社アドウェイズ(英名	名:Adways Inc.)
設立年月日	2001年2月28日	
事業概要	インターネット関連事業	
代表者氏名	岡村 陽久	
資本金	1,605百万円	[2017年3月末日現在]
	42,329 百万円	[2017年3月期連結]
従業員数 ※臨時雇用者含む	1,184名(グループ全体)	[2017年3月末日現在]

